

学校教育計画

4年間の目標と主な方策（平成28年度～平成31年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や授業見学を更に活性化させ、学校全体としての組織的な授業改善を推進する。 ・基礎学力の充実を図ると同時に、各科やクラス内における学力の偏りに対応する授業等の実践を目指す。 ・カリキュラムや各行事の充実を図りながら、授業時数の確保を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業見学の時期・期間を十分検討し、研究内容を反映させる。また、生徒による授業評価等を更に活用する。 ・授業研究を重ね、効果的な授業実践を考察する。 ・各講座の授業時数を調整する方法を探るとともに、放課後や長期休業中等を利用した補習を計画する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安全・安心に学校生活を送るための指導を充実させ、生徒自らが主体的に行動し、新たな社会的課題に対応できる人材の育成を図る。 ・学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。 ・部活動の活性化を通して、問題解決能力を育み責任感や連帯感の涵養を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立するため、思いやりや公共心・倫理観を育ませる指導の徹底を図る。 ・明確な目標を掲げ、生徒が主体的に考え、行動する生徒会活動・委員会活動を推進する。 ・教職員間における業務の共有化を図り、顧問総会を定期的に設定し、部活動の活性化の支援を行う。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い知識と技術を育み、社会の動向に柔軟に対応できる産業人として、社会人基礎力を主体的に身につけるとともに、実社会で求められる人物育成を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健全な勤労観・職業観を育成するため、各専門学科や産業界と連携し、進路ガイダンスやインターンシップ等の充実を図る。 ・将来の幅広い進路選択肢の確保に向け学力向上を目指した教育活動の充実を図る。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業界と連携し、個性豊かな人間性や社会性を培うために、農業科・商業科それぞれの高い専門性の知識と技術を活かしつつ「主体性・多様性・協働性」を兼ね備えた生徒の育成を実現していく。 ・社会の動向に柔軟に対応できる産業人の育成に向けた専門教育活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化など多様化する社会の変化に柔軟に対応するための修正力と、変化を正面から受け止め主体的に物事を捉える力を養う。 ・異なる価値観に対応するためのコミュニケーション能力や6次産業化を実践するため、地域産業界との協働を図る。 ・学校行事による地域産業の紹介やワークショップなどを通して、地域との連携を深化させるための企画を検討する。 ・地域との合同防災訓練の実施を検討する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事故を防ぐため、全職員の組織的な取り組みを進める。 ・災害発生時の体制作りを進める。 ・教育環境の整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通じて職員のスキルアップを図るとともに、各種情報管理の徹底を促す。 ・連絡体制の確立に向けて研究を行う。 ・備蓄品の充実を図り、設備・備品等の計画的な更新を進める。